

「本リリース御案内は、経済産業記者会、経済産業省ペンクラブ及び消費者庁記者クラブに行っております。」

報道各位へのお知らせ

平成23年7月19日



製品安全センター

カセットこんろによる事故の防止について（注意喚起）

NITE（ナイト：独立行政法人製品評価技術基盤機構、理事長：安井至、本部：東京都渋谷区）製品安全センターに通知された製品事故情報のうち、平成17年度から22年度の6年間に発生したカセットこんろによる事故は、175件（※1）ありました。被害状況は、死亡5件、重傷10件、軽傷51件となっています。爆発・破裂の事故は58件発生しています。1室以上の火災（※2）50件のうち全焼は25件ありました。平成17年度から21年度の5年間に発生したカセットこんろの事故のうち「専ら設計上、製造上又は表示に問題があったと考えられるもの（原因区分A）」及び「調査中のもの（原因区分H）」を除いた事故（135件）を現象別に事故発生状況を分析すると次のような事故が、多く発生しております。

- ① 他の熱源（電気こんろ、ガスこんろ、IH調理器等）で過熱された
- ② 火をつけたまま放置した
- ③ カセットボンベを適正に装着しなかった など

カセットこんろは事故防止策として安全に係わる技術基準項目がこれまでに2回（昭和51年、平成8年）追加され（※4）圧力感知安全装置などが組み込まれているため、新しい技術基準に適合したものは、事故を起こしにくい構造になっていますが、震災の影響による節電のため押入などから古いカセットこんろを出して使用する機会の増加が予想されること、人の使い方による事故が多発していること、そして9月から事故が増加する傾向にあることからカセットこんろによる事故を防止するために注意喚起することにしました。

（※1）平成23年6月30日現在、重複、対象外情報を除いた件数

（※2）柱、床など建物に火が及んだもの

（※3）①カセットボンベの内圧が一定以上に上昇した場合は、燃料ガスの供給が停止すること（昭和51年、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律（以下、「液石法」という。）の技術基準に追加）。
②カセットこんろの汁受け及び五徳が誤った位置に取り付けられた場合は、点火操作ができないか又はなべ等が安定して載せられない構造とすること（平成8年、液石法の技術基準に追加）。

1. 記者説明会について

日時：平成23年7月21日（木曜） 10:00～（開場9:00）

場所：ナイトスクエア（東京都渋谷区西原2-49-10 NITE 1階）

※参加ご希望の方は、平成23年7月20日（水曜）18：00までに「記者説明会参加連絡先」へ必ずご連絡下さい。

会場の準備のため必要ですので、ご協力くださいますようお願いいたします。

2. 説明する内容

N I T Eに通知された「カセットこんろ」の事故について、事故状況とその傾向、事故事例及び未然防止のポイント等を説明いたします。また、再現実験映像をご覧いただきます。

3. 当日入館時のご注意

N I T E 本所（東京都渋谷区）では、入館管理システムを運用しております。

入館時 : 受付で外来者用入館許可証をお渡しますので、ゲートにかざして入館してください。

（館内では許可証を首から吊るしてください。）

退出時 : 許可証を受付に返却してください。

お手数をおかけしますが、ご協力くださいますようお願いいたします。

（本件に関する問い合わせ先）

○記者説明会参加連絡先

製品安全センター製品安全調査課

担当者 葛谷（くずや）、亀井（かめい）、三好（みよし）

電話：06-6942-1113

製品安全センター製品安全調査課（7月21日、午後）

担当者 葛谷、亀井、三好

電話：03-3481-6566（製品安全企画課）

○記者説明会当日

製品安全センター製品安全調査課

担当者 葛谷、亀井、三好

電話：03-3481-6566（製品安全企画課）

○記者説明会翌日以降

製品安全センター製品安全調査課

担当者 葛谷、亀井、三好

電話：06-6942-1113